

生活・生業の維持・継続に関する関係主体の活動実態と意識特性
－別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観の保全に関する研究－

1.背景と目的

2012年9月

鉄輪・明礬温泉地区における「湯けむり景観」が重要文化的景観に選定

既往研究

生活

1

生活・生業の担い手

地域活動団体への
グループヒアリング調査
2013年7月～2014年1月

生業の対象

外来者への
アンケート調査
2013年12月～2014年1月

2

観

重要文化的景観の認知度
周知するための問題と提案

「湯けむり景観」の保全と活用の
方向性を検討する

鉄輪温泉地

明礬温泉地区

2.1 グループヒアリング調査の概要

I 属性			
1.所属する団体			
ヒアリング対象人数			
1.人数			
2.管理・運営資金	1.メンバーから会費を徴収	2.行政からの補助金	3.寄付 4.その他
3.活動・設立の目的	1.生活環境維持	2.商業・観光開発	
4.どのような活動をしているか(自由記述・具体的)			
5.活動のなかでの温泉資源の利用があるか	1.直接的な関わりがある(実際に温泉資源を利用)		
6.活動のなかでの課題	1.利用者の減少	2.管理の困難さ	
7.課題への対策(自由記述)			

I 属性

[地区住民] (構成人数・活動目的など)

[外来者] (年齢・交通手段・頻度・期間・来訪目的など)

1.生業の中で温泉資源を利用しているか	1.利用している	2.入	
1.1.自宅でどのような利用をしているか	1.浴用	1A. 2.湯し物用	1B. 3.
1.2.上で選択した利用のなかで、温泉資源利用を継続するための課題となっている工夫は何か(下の表)			
生業	利用用途	利用の中心	
	-浴用		
	-湯し物用		
	-飲用		
	-温泉敷借		
	-娯楽用		
	-湯の花用		
-観光用			
-その他			

II 温泉資源とのかかわり

[地区住民] 生活・生業 両面

[外来者] 滞在時

(利用用途・利用上の問題、利用継続するための工夫など)

2.1.自宅でどのように利用しているか	1.浴用	1A. 2.湯し物用	1B. 3.
2.2.上で選択した利用のなかで、温泉資源利用を継続するための課題となっている工夫は何か(下の表)			
生活	利用用途	利用の中心	
	-浴用		
	-湯し物用		
	-飲用		
	-温泉敷借		
	-娯楽用		
	-湯の花用		
-観光用			
-その他			
選択課題	1.立地条件が悪い	2.衛生面などの環境が悪い	3.利用者の減少
	4.維持費がかかる	5.利用者のマナーが悪い	6.管理が難しい
	7.設備不足	8.その他(課題を記入)	

III 重要文化的景観の認知

(認知の程度・周知方法の工夫など)

IV 重要文化的景観として保全していくために	
1.重要文化的景観(構)について	1.内容を把握している
2.鉄輪・明礬地区の湯けむり景観が重要文化的景観に選定されていることを知っているか	1.知っている
3.重要文化的景観の理解を深めるために文化庁の調査事業の一つとして案内板の設置について	1.設置の方が良い
6.図2においてどうすれば知ってもらえるか(知ってもらうための方法)	

IV 重要文化的景観として保全していくために							
1.重要文化的景観(構)について	1.内容を把握している						
A.重要だとするもの、B.取りたいと思うもの、C.改善する必要があると思うものについてそれぞれ3つずつ答えよう(身近なもので大きなものは可)							
(鉄輪・明礬地区) あるいはふるさと地区にのぞめる							
1.共同浴場	2.旅館	3.商店街	4.寺社	5.温泉遺構	6.碑	7.石畳	8.地蔵
9.小売商店	10.石燈	11.地蔵堂	12.河川	13.気流分層装置	14.ウスギモウゼイ	15.道標	16.路地
17.碑	18.住宅	19.看板	20.湯の花組合事務所跡	21.湯の花小屋	22.板橋・経路の建物群	23.その他(具体的なものを記入)	
番号	理由	番号	理由				



1-2 あなたの年齢はおいくつですか。

①20代未満 ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代

訪問の主な目的は何ですか。(1つのみ)

②買い物 ③地獄めぐり ④まち歩き
⑥地獄釜し体験 ⑦宿泊 ⑧その他

られましたか。

②家族と ③友人と ④その他

の滞在・訪問ですか。(訪れたほうにご記入ください)

鉄輪(カンナワ) ①1回目 ②2~4回目 ③5回以上
明礬(ミョウバン) ①1回目 ②2~4回目 ③5回以上

間を教えてください。

②1泊 ③2泊 ④3泊以上

資源利用についてお伺いします。

温泉資源を利用しましたか。(複数回答可)

①含む ②地獄釜を使った
④地獄(観覧施設)に行った
⑤用・美容 ⑥利用していない

訪れたときに温泉資源を利用するためには、どのような「ポイント」などがあると利用しやすいですか。(自由記述)

2-3 滞在中で印象に残ったものは何ですか。(3つまで)

2. 旅館 3. 小売商店
5. 温泉の遺構・跡地 6. 神社や公園の石碑
8. 地獄 9. 石垣
11. 川 12. 湯けむり装置
14. 湯の花小屋 15. 湯の花組合事務所跡
・ネコ・浴衣姿の人

3 重要文化的景観についてお伺いします。

3-1 アンケートよりも以前に鉄輪・明礬地区の湯けむり景観が重要文化的景観に選定されたことを知っていましたか。

鉄輪 125部
明礬 82部

2.1 グループヒアリング調査の概要

団体名称		属性					ヒアリング 対象人数	
		構成 規模*1	属性の内容	活動の目的				
				生活環境 維持	商業・観 光関係	文化・歴 史関係		
自治会	鉄輪	御幸自治会	※	地区住民	●			12
		鉄輪上自治会	100世帯	地区住民	●			15
		井田自治会	35世帯	地区住民	●			5
		鉄輪東自治会	550世帯	地区住民	●			14
		北中自治会	500世帯	地区住民	●			10
	明礬	明礬自治会	52世帯	地区住民	●			9
地域団体	鉄輪	鉄輪愛酎会	110人	地区住民を 主体とする関係者		●	●	16
		かんなめ会	6人	旅館の女将	●	●	●	6
		鉄輪旅館組合	30件	旅館関係者		●		6
		鉄輪商工連合会	47件	商業関係者		●		2
	明礬	明礬温泉湯の花 製造技術保存会	4件	旅館関係者		●		1
		明礬温泉協同組合	10件	旅館関係者	●	●		
	別府市	別府八湯トラスト	150人	別府市民	●	●		
合計		-	-	-	-			

計13団体
104人

※・・・不明な事項

*1構成規模・・・自治会は世帯数、旅館で運営している地域団体は件数、その他の地域団体は人数で示す

3.1 温泉資源の利用傾向

利用目的別温泉資源の利用人数の割合

	地区	利用場面	回答者数	利用率※1		利用目的別			回答者数	利用率※1	
				利用人数	割合	浴用	蒸し物用	湯の花用		利用人数	割合
地区住民	鉄輪	生活	91	83	91.2%	100.0%	13.3%	—	91	83	91.2%
		生業		26	28.6%	69.2%	57.7%	—		26	28.6%
	明礬	生活	13	13	100.0%	100.0%	23.1%	—	13	13	100.0%
		生業		6	46.2%	66.7%	66.7%	66.7%		6	46.2%
外来者	鉄輪		125	113	90.4%	92.0%	23.0%	4.4%	125	113	90.4%
	明礬		82	81	98.8%	92.6%	2.5%	14.8%		81	98.8%

※1・・・利用人数を回答者数で除した値
: 当該回答者割合のうち最上位

※2・・・利用用途別の人数を利用人数で除した値
: 当該回答者割合のうち最上位

温泉資源の利用の有無

- 地区住民
 - 生活 両地区で90%以上の人々が温泉資源を利用
 - 生業 両地区での温泉資源の利用は37%程度
- 外来者
 - 両地区で90%以上の人々が温泉資源を利用

3.1 温泉資源の利用傾向

利用目的別温泉資源の利用人数の割合

温泉資源の利用人数における利用目的別人数の割合(複数回答含)※2

地区	利用場面	回答者数	利用目的別											
			浴用	蒸し物用	湯の花用	観覧用	飲用	温熱栽培用	暖房用	乾燥用	洗濯用	炊事用	美容用	
地区住民	鉄輪	生活	91	100.0%	13.3%	—	—	—	1.2%	13.3%	2.4%	3.6%	7.2%	—
		生業	91	69.2%	57.7%	—	—	3.8%	—	46.2%	7.7%	—	3.8%	—
	明礬	生活	13	100.0%	23.1%	—	—	—	—	7.7%	—	7.7%	7.7%	—
		生業	13	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	—	—	16.7%	—	33.3%	50.0%	—
外来者	鉄輪	125	92.0%	23.0%	4.4%	28.3%	0.9%	—	—	—	—	—	—	
	明礬	82	92.6%	2.5%	14.8%	27.2%	2.5%	—	—	—	—	—	2.5%	

：当該回答者割合のうち最上位

：当該回答者割合のうち上位3項目

温泉台帳の用途 7種 (浴用, 蒸し用, 飲用, 温熱栽培用, 暖房用, 湯の花用, 観覧用)

調査結果の用途 11種 (浴用, 蒸し用, 飲用, 温熱栽培用, 暖房用, 湯の花用, 観覧用, 暖房用, 乾燥用, 洗濯用, 炊事用, 美容用)

利用状況

両対象地区で温泉資源が多様に利用されている

地区住民 生活・生業での温泉資源の利用用途は10種
(浴用, 蒸し用, 飲用, 温熱栽培用, 暖房用, 湯の花用, 観覧用, 暖房用, 乾燥用, 洗濯用, 炊事用)

外来者 滞在時の温泉資源の利用用途は6種
(浴用, 蒸し用, 飲用, 湯の花用, 観覧用, 美容用)

3.2 温泉資源の利用継続における問題

生活・生業の担い手

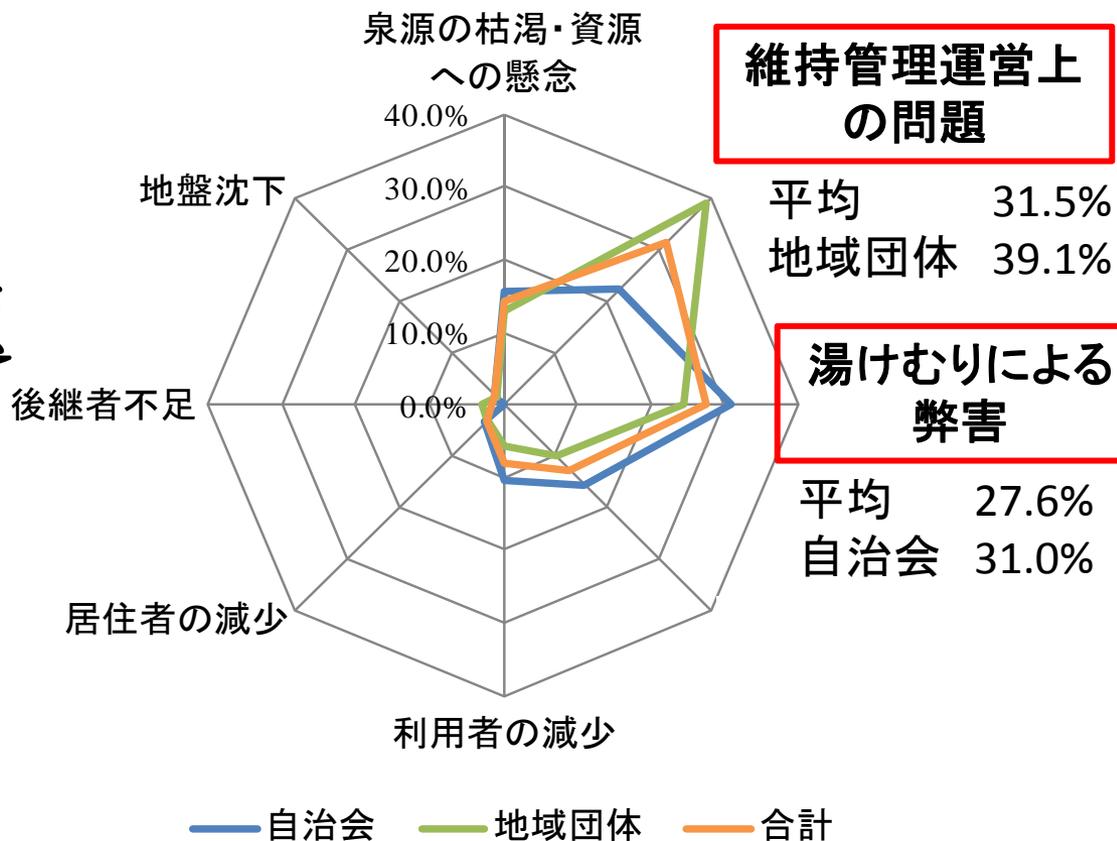
地域活動団体への
グループヒアリング調査

利用継続上の問題

127件 (8分類)

自治会 58件

地域団体 69件



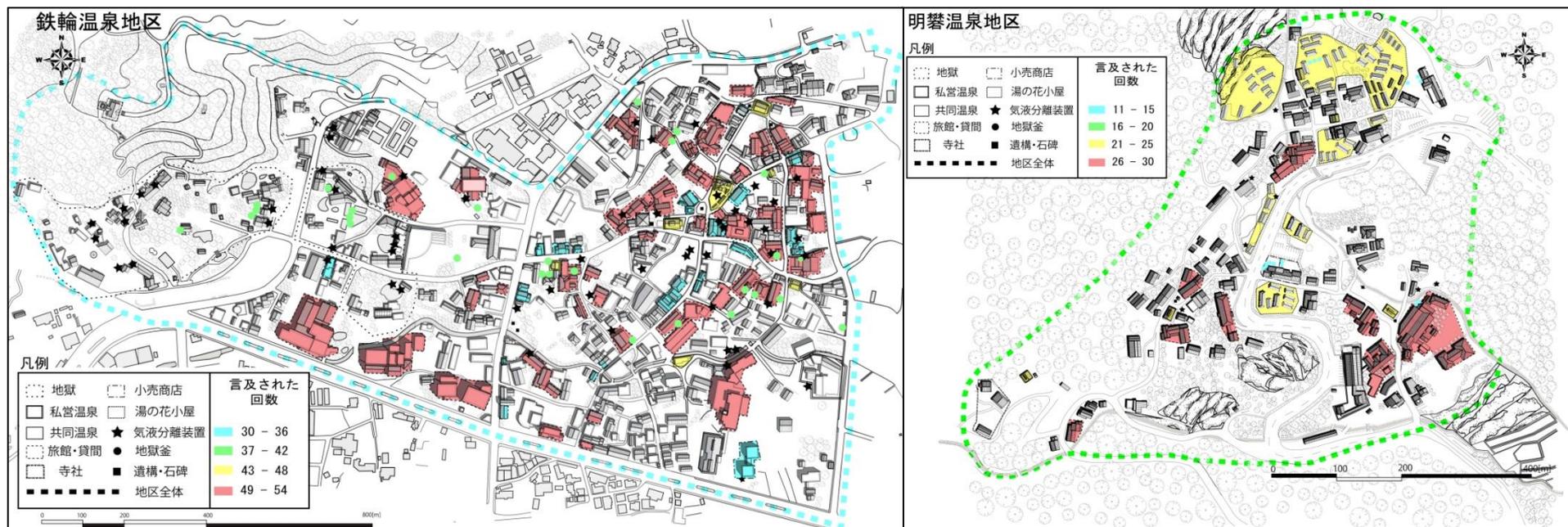
維持管理運営上の問題 (平均31.5%、地域団体の約4割)

・管理を続けていくうえで、維持費がかかる、など

湯けむりによる弊害 (平均27.6%、自治会の約3割)

・湯けむりの蒸気で、電化製品が壊れる、など

3.2 温泉資源の利用継続における問題

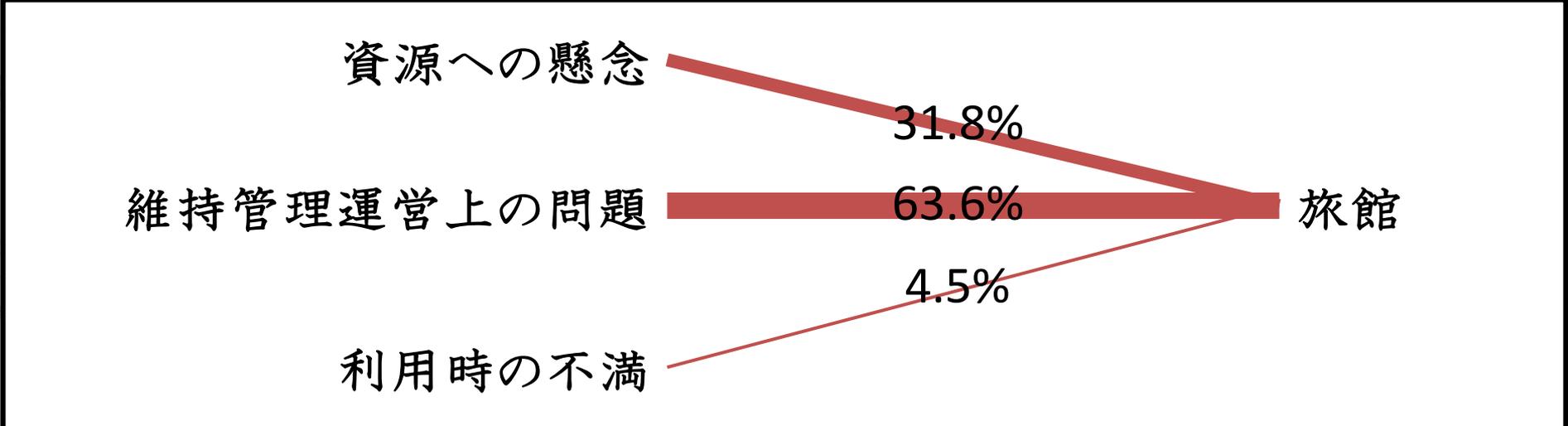


温泉資源の利用継続上言及された景観構成要素の分布

温泉資源の利用継続における問題127件のうち、その問題と景観構成要素の関係が特定されたもの^{注)}を地図上に表した

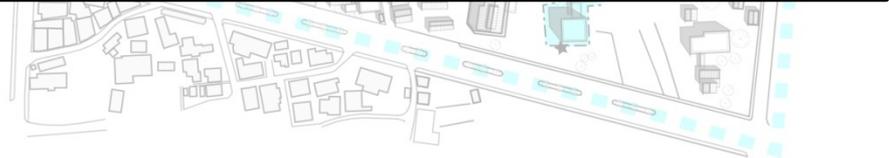
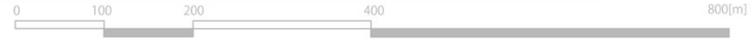
注) 温泉資源の利用継続における問題127件のうち、その問題と景観構成要素の関係が特定された108件のことを指す

旅館	54件(22)
共同温泉	48件(16)
地獄釜	37件(5)
飲食・小売商店	34件(2)
地区全体	32件



利用者の減少

寺社	遺構・石碑	43 - 48
地区全体		49 - 54



()の数値は、利用継続上の問題から景観構成要素が特定された件数

3.3 温泉資源の利用継続維持の方向性

① 生活・生業の担い手

地域活動団体への
グループヒアリング調査

② 生業の対象

外来者への
アンケート調査

利用継続への提案

地区住民 75件

外来者 74件

(6分類)

資源の利活用

平均 28.0%
外来者 20.3%

市や県からの援助

維持・管理面の改善

イベントの開催

サービスの向上

平均 22.7%
外来者 56.8%

利用を促進する
ハード整備

— 自治会 — 地域団体 — 合計 — 外来者

資源の利活用 (団体平均28.0%、外来者20.3%)

・捨て湯の再利用・浴用以外で温泉資源を利用する、など

サービスの向上 (団体平均22.7%、外来者56.8%)

・利用料金を安くする・タオルなどの貸出、など

4.1 重要文化的景観の認知度

① 生活・生業の担い手

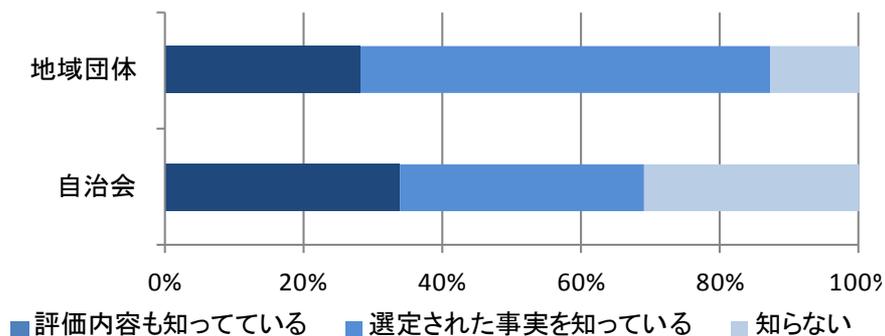
地域活動団体への
グループヒアリング調査

② 生業の対象

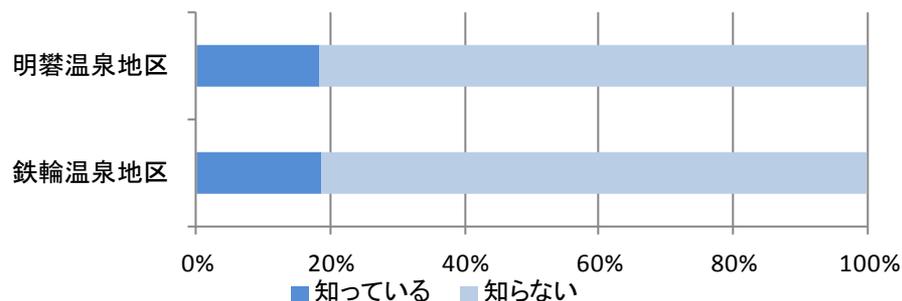
外来者への
アンケート調査

「湯けむり景観」が重要文化的景観に選定されたことについて

地区住民



外来者



選定について知っている **地区住民** 7~9割 **外来者** 2割程度
内容について知っている **地区住民** 3割程度

4.2 周知上の問題

生活・生業の担い手

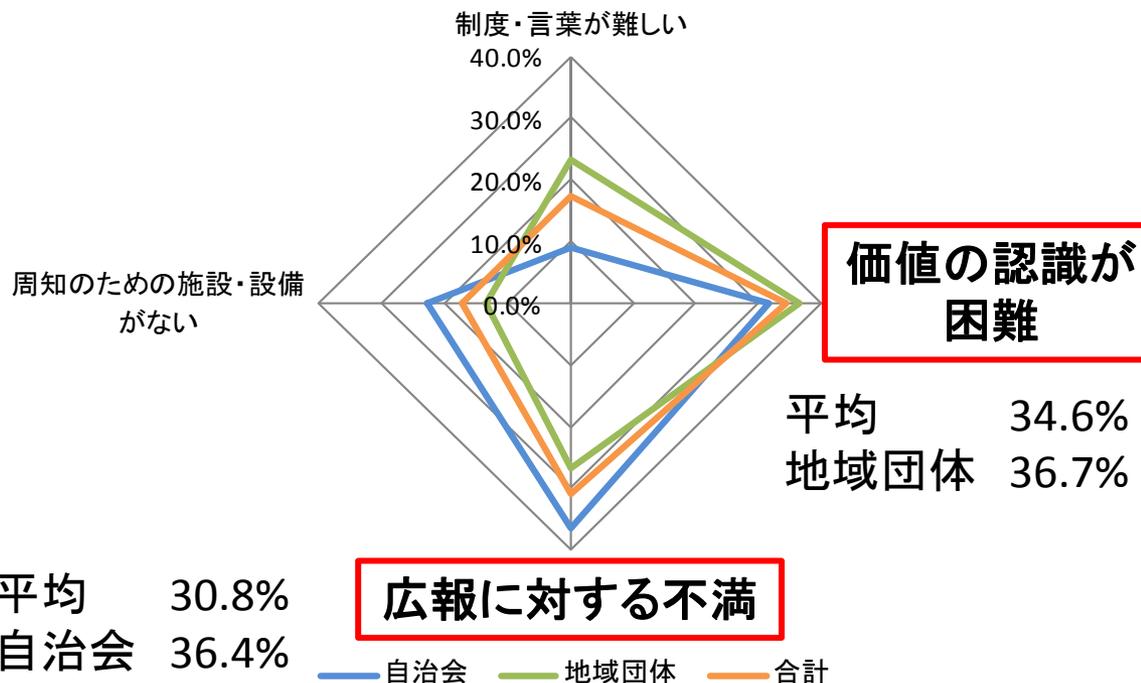
地域活動団体への
グループヒアリング調査

周知上の問題

52件

自治会 22件

地域団体 30件



価値の認識が困難 (団体平均34.6%、地域団体36.7%)

・湯けむりや温泉資源が日常的に存在することが当然、など

広報に対する不満 (団体平均30.8%、自治会36.4%)

・説明会の数・説明会を行う時間、など

4.2 周知上の問題

生活・生業の担い手

地域活動団体への
グループヒアリング調査

周知方法の提案 66件 6分類

		周知の方法						周知のための施設・設備の設置
		発言数	湯けむりの演出の方法の改善	テレビ・インターネットなどのメディア	写真・活字・パンフレットなど	人の説明・ロコミ	イベントの開催	
地区住民	自治会	31	16.1%	29.0%	12.9%	16.1%	6.5%	19.4%
	地域団体	35	2.9%	20.0%	34.3%	20.0%	20.0%	2.9%
	合計	66	9.1%	24.2%	24.2%	18.2%	18.2%	13.6%

:最上位

:上位2項目

各種メディア、パンフレット等の紙媒体

(団体平均24.2%)

ガイドの説明、イベントの開催

(団体平均18.2%、地域団体が多い)

温泉資源の利用継続

地区住民

温泉資源の維持・管理・運営に最も問題を感じている

外来者

サービス面（利用料金やアメニティなど）で問題を感じている
滞在時に温泉資源を利用しやすい環境が必要

・ 維持・管理の問題解決のサポート

（個人で管理するのではなく、組合で管理していくなど）

・ 温泉資源の有効活用

（捨て湯の再利用、浴用以外で温泉資源の利用など）

・ 温泉資源を利用しやすい環境づくり

（安価な温泉資源の提供、タオル等の貸出、サービスの向上など）

「湯けむり景観」の認知

地区住民

選定された事実の認知は高いが、その内容の認知は低い
日常的に存在するため、その価値に気付きにくい

外来者

選定された事実の認知は低い
周知の方法として、テレビ、Webサイト、新聞が効果的

生活・生業が変化する中で、何が本質であり重要であるのか理解する必要がある

湯けむり景観の保全

- ・ 温泉資源の維持・管理面の問題が多いため、資源管理の取り組みについて検討する
- ・ 提案された方法や専門家の力を活用し、「湯けむり景観」の価値をわかりやすく伝える

ご清聴ありがとうございました

